

様式第3号

会 議 録

会 議 名 (審議会等名)		平成25年度 第4回 川西市社会教育委員の会	
事 務 局 (担 当 課)		教育振興部 社会教育室 (内線 3421)	
開 催 日 時		平成25年9月25日(水)10時00分～12時00分	
開 催 場 所		市庁舎 202会議室	
出 席 者	委 員	生田議長、安藤副議長、末澤委員、岡田委員、田中委員、廣末委員、米田委員、岸本委員 計8名	
	そ の 他		
	事 務 局	泉教育振興部長、中塚こども家庭部長、森下総務調整室長、上中学校教育室長、柳川社会教育室長、中定教育振興部参事、岸本中央図書館長、沼人権推進室長兼人権推進課長、松山中央公民館主幹、井上社会教育室副主幹、西垣(囑託職員)、学校地域支援本部コーディネーター 計12名	
傍聴の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数 1名
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第		1. 開会 2. 前回会議録の承認 3. 報告事項 (1)近畿地区社会教育研究大会「和歌山大会」の報告について (2)阪神北地区社会教育委員協議会第1回研修会の報告について (3)各協議会の会議報告について (4)その他 4. 議題 (1)平成25年度年間研究テーマ「地域、学校、家庭をつなぐ社会教育のあり方」について (2)その他 5. その他	
会議結果		別紙のとおり	

審 議 経 過

NO.1

議長	<p>ただいまより、第4回社会教育委員の会を開会する。 まずはじめに今日の出欠について、真鍋委員と仲委員が欠席の連絡があり、他の委員につきましては出席です。 それでは開会にあたり教育委員会事務局の方からご挨拶をお願いしたい。</p> <p>(教育振興部長挨拶)</p>
議長	<p>つづいて市長部局こども家庭部よりご挨拶をお願いしたい。</p> <p>(こども家庭部長挨拶)</p>
議長	<p>会議に入るが、まず2の前回の会議録の承認について。</p> <p>(承認)</p>
議長	<p>続いて、3の項目(1)から(2)についての報告事項について、事務局より報告して頂きたい。</p>
事務局	<p>3の報告事項の(1)から(2)についての報告</p> <p>(1)平成25年度近畿地区社会教育研究大会(和歌山大会)について 平成25年9月5日(木)10時20分～15時40分 会場:和歌山県民文化会館 ほか</p> <p><全体会> 記念講演:演題「南方熊楠の生涯」 講師 南方熊楠顕彰館 館長 濱岸宏一氏</p> <p><分科会> 第1分科会 地域づくり 第2分科会 人権教育 第3分科会 学校・家庭・地域の協働 第4分科会 社会教育委員 第5分科会 家庭教育支援</p> <p>(2)平成25年度阪神北地区社会教育委員協議会第1回研修会 平成25年8月24日(土)10時00分～16時00分 場所:伊丹市立東中学校 東中ファミリーサポーターズ活動視察 伊丹市立こども文化科学館 館内見学及び学芸員による講義</p>
議長	<p>社会教育委員の方も参加して頂いているので、感想を含めて感じられた事等々、話して頂けたらと思う。まず近畿大会について。</p>
F委員	<p>第4分科会「社会教育委員と学校との協働～放課後子ども教室の取組から～」に参加した。自身がコーディネーターの中心になりとても活発な活動をされているのが一番の印象だった。社</p>

審 議 経 過

NO.2

E委員	<p>会教育委員としての思いというのは自分達が教育行政との間の架け橋に、また学校、家庭との架け橋になればという部分である。いろいろな方がいろいろな考えを持たれていた会だったが、私はその活動というのはすごく評価できるものではないかと感じた。</p> <p>同じ分科会で、放課後子ども教室についての発表であった。私が川西で関わってきている同じ事業の教室で、一年間いろいろな事をされて、地域柄を踏まえて地域の特色ある取り組みをされている。そのような事がどの学校でもできるものなのかという疑問も出ていた様に思うが、とにかく人を作るのに地域の物で子どもを育てなければならないという人づくりの面で、非常にきめ細やかにされていると感じた。体験をさせながら人間としての育ちをサポートするという事で、大変良い発表であった。</p>
議長	<p>今のE委員の「放課後子ども教室の取組から」という件で、これは川西市に置き換えて行くとの事業になるのか、事務局、説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>社会的にゆとり教育と言われた10年間がスタートする時に、文部科学省の作った一つの計画として、学校が5日間になり、残りの2日間を使って子ども達は学びの場を学校から地域に移して行くということで土曜、日曜については社会教育が担うという制度設計がされた。その流れの中で放課後も子ども達に色々な学びの機会、体験の機会を与えていければと、平成20年からスタートしたのがこの放課後子ども教室です。基本的には授業を終えた子ども達が、放課後、地域の方々の支えによって学習活動をしたり、或いは様々な体験活動をしたりする様な機会を各学校に設けて行こうというのがこの制度で、兵庫県ではこの制度が始まるまでは、学校の外にそういう機会を持ち、公民館などでやるという事だったので、この新しい制度の中では学校の中に設けるということでした。学校の中には子ども育成クラブがあり、保護者が共働きで、家に帰っても大人がいないという低学年の子ども達が過ごしますけれども、そういった所とも連携しながらやっていく事業にしていこうという事で制度設計されてスタートしました。ですから、各自治体によってはその担い手が、青少年育成市民会議であったり、或いは地域の様々な団体であったりという様な形になっています。川西では、こうした事業についてはこども部ができた段階で社会教育からこども部の方へ移管し、教育委員会のラインからは外れた事業になっていますが、そういう様な形で実施されています。</p>
B委員	<p>放課後子ども教室は、どのくらい川西は活動されているのか。</p>
E委員	<p>活動は、全16小学校がされている。学校によって参加している児童数や教室数は違い、「子ども居場所づくり事業」から始められて歴史のあるところや、やっと去年くらいに立ち上げられたところもある。また、学校内に教室があるところとか、学校内ではなく学校近くの公民館や自治会館的な所である所とかいろいろな差がある。</p>
議長	<p>川西の放課後子ども教室については、情報発信をホームページで非常に活発にやっておられると個人的には見させて頂いている。地域や学校によって差があるというのはどの事業でも見られることである。</p> <p>それでは、阪神北地区社会教育委員協議会第一回研修会について、私の方の感想だが、市</p>

審 議 経 過

NO.3

E委員	<p>立東中学校のファミリーサポーターズという事で、学校支援地域本部事業の活動 この言葉を伊丹は使っておられないが、東中の土曜日の活動状況の報告があった。十数年前、荒れていた東中学校が、いかに立ち直り、いかに地域と学校が連携し、活動しているかという報告があった。また、伊丹市立こども文化科学館では、地域のNPOと連携しながらの町づくりの報告があった。</p> <p>元々中学校にいたので、荒れた学校をどうしたかという事に非常に興味を持って聞いた。先ず学校と東中ファミリーサポーターズ、そして東中地域活性隊という3つの動きをされて、その3者が協力して子育てするという素晴らしい環境づくりをされているなどと思った。ただ、学校が荒れてからの取り組みは、事後措置としては良いものだが、いつも私が言う様に教育は予防、荒れない様な学校づくりのシステムを構築するという事が、非常に大事だと思うので、普段から地域の人やPTAを巻き込んで色々な事を学校と共にやる。また、管理職だけでなく教員が自分達の学校でやっているということが、非常に良いと思った。学校によって課題は異なるので、そういうものを把握し、普段から学力の向上策を取っていく事が必要だと感じた。</p>
議長	<p>実践例を見て行くと、学校現場だけの問題ではなく、地域ぐるみで具体的に関わっていく、その重要性を学校サイドでも更に再認識をする。地道ではあるのだけど、地域の学校を市民等で盛り上げていくということを改めて思った。</p> <p>それでは(3)各協議会の会議報告についてと(4)その他について各委員の方では是非、他の委員の方に知って欲しいということがあればお願いしたい。</p>
議長	<p>3の報告事項の(4)その他について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川西南中学校体育大会について D委員より 平成25年9月22日(日) ・東谷中学校体育大会について B委員より 平成25年9月22日(日) ・明峰小学校オープンスクールについて C委員より 平成25年9月20日(金)
事務局	<p>今、学校教育ラインの話の感想や委員の立場での報告があったが、事務局より、総括した形で、感じられた事をお願いしたい。</p>
事務局	<p>荒れた学校を立て直すのは、大変な苦勞が必要で、E委員からもありました様に予防して行くということは、担任が学級づくりをする中で学力をつける、授業力をつける、そういった所からスタートしていかなければいけないと思っています。それぞれの学校によっていろいろな状況があります。川西におきましても非常に苦しい所もありますし、地域の皆さんの支えがあってそれぞれの学校の特色をもって頑張っておられる所もあります。まさに見える所といえば、中学校の体育大会で、それぞれの地域の皆さんの支えがあり、そして子どもの姿を目にして頂くという事にとっては一番良いのかなあと感じております。</p>
議長	<p>ありがとうございました。続いて、事務局から資料についての説明をお願いしたい。</p>

審 議 経 過

NO.4

	<p>事務局より「平成25年度公民館講座案内後期」について説明</p>
議長	<p>かつては公民館運営審議会があり、年に2、3回公民館運営等についての審議を行う会議が、我々委員が重複する形であったのだが、数年前から社会教育委員の会に一本化されたので、よく見て頂けたらと思う。いずれ公民館などの社会教育施設については、昨年も委員の方から、ひとつ焦点化した形でこの会でもう少し集中的に論議をする必要があるのではないかという意見等もあったので、次年度には考えていけないと思っている。質問はないですか。</p>
A委員	<p>ずい分たくさんの講座があって、もうこれで生涯学習は充分ではないかなと思う様な内容だが、こういう講座を開設しようという企画をする場所があるのか。市民のニーズはどこで拾い上げていくのか。</p>
事務局	<p>説明でも述べさせていただきましたが、加えてアンケートも取らせて頂いております。また地域との連携事業などもしております。できるだけいろいろな方の声を聞きながら講座の方は企画させて頂いております。</p>
A委員	<p>企画する会議のようなものがあるのか。</p>
事務局	<p>公民館の主事会の方で行っています。主事会や館長会の方でどういうふうな形の講座をやっているかという相談などをさせて頂いています。</p>
A委員	<p>わかりました。</p>
議長	<p>今の件だが、課題として時々出て来る質問で、主事会云々はあるのだけど、行政サイドだけで企画するのではなく、地域住民で公民館推進委員の様な形の中で、市民に投げた講座を企画する様な場というのが必要じゃないか。公民館の職員だけで企画するのではなく、市民企画講座的な枠を頂いて、そこで自主的な講座をという様な意見もあり、また論じてみたらいいのではないかと思う。これは、個人的な意見だが。</p> <p>それでは、4の議題に入らせて頂きたい。テーマに従ってだが、今回については前回の会を踏まえ、もう少し地域、学校、社会との連携の部分で、学校支援地域本部のことについて、今日、コーディネーターの方に昨年に引き続いて来て頂いているので、川西の今の状況を話して頂けたらと思う。</p>
議長	<p>学校支援地域本部コーディネーターより平成24年度事業報告書に基づき「学校支援地域本部事業」の説明</p>
議長	<p>具体的に支援本部事業の中での問題点も含めて、良い面と過去の歴史の部分の説明があったが、いかがか。</p>
E委員	<p>ボランティア登録をされている方が沢山あると思うが、かつてはボランティア登録したが、なかなか声が掛からないということが問題として上がっていたと思うが、現在はどうか。</p>

審 議 経 過

NO.5

コーディネーター	<p>年間新しく2から4名と登録の申し出があり、思っていたらっしゃる所ではないかもしれませんが、必ずおつなぎして、皆さんの集まりの中に来て頂いたり、他の事で力をお借りしたりして、現在は人と団体含めて200程になります。</p>
E委員	<p>少し安心した。声が掛からないと、せっかく登録しているのに、少し具合が悪いなと思ったので。</p>
議長	<p>今、コーディネーターの方から話があった「川西では、今あるものと人をコーディネーターが繋いで連携を促そうと努めてきたため、学校、ボランティア双方に仕組みが見えづらく、事業を理解していただきにくかった。」の部分で問題提起されたと思う。</p>
コーディネーター	<p>川西では、校長、教頭には知って頂いているのですが、なかなか一般の教職員の方にこの事業が知られておらず、本当に困っている所につなぐことができないのを残念に思っていましたので、昨年のコーディネーター研修会で聞いた、学校の中に地域担当の先生が配置されている神戸市の例は素晴らしいなと思いました。</p>
C委員	<p>ほかに何人おられるのか。</p>
コーディネーター	<p>地域コーディネーターは、5名です。 ここに名前は挙がっていないが、各地域に同じ様にコーディネーター的な役割を果たしている方がいらっしゃると思って頂いて結構かと思います。</p>
C委員	<p>これは、どなたがどの地域というふうになっているのか。</p>
コーディネーター	<p>コーディネーターはそれぞれ自分が住んでいるところの学校の図書ボランティア出身者がほとんどですので、自分達の地元ということです。</p>
C委員	<p>議長がこの委員長ですよ。</p>
議長	<p>社会教育委員では、私とD委員さんがそうです。 事務局より事業開始から5、6年経っての川西市の状態を説明願いたい。</p>
事務局	<p>実はこういう形でやっているのは兵庫県だけで、この事業が最初に出てきたのは、杉並区の和田中学校がPTAを廃止し、地域との連携組織として和田中学校地域本部というのを立ち上げて色々な活動をされた。それを全国に広げて行こうという文科省の考えで始まりました。兵庫県では、41市町全ての教育委員会に地域本部を置いて、各市町の中でできる所、或いは最もニーズの高い所から取り組みを始め、学校と地域との連携の定着を図るという一つの事業として実施をして下さいという事が事業の最初です。</p> <p>川西の場合、特に学校図書ボランティアの事業が中心になって動いており、これを今後どう拡大していくのかというのが大きな課題だろうと思います。例えばはじめに話題になりました放課後子ども教室の様に、地域と学校とが直接つながって行く様な組織になって行くのが一番良</p>

	<p>いのですが、そうすると学校は仕事が増えて行くばかりで、最終的には神戸市のように地域担当教員という専門の教員を配置しなければならない。神戸市は、市で教員数を担保できますが、川西市はそういう事ができませんので、今後はこれをどういうふうに他の事業とリンクさせながら巻き込んで行くのかと言うのが大きな流れだろうというふうには思います。</p> <p>この事業の難しいところは、先ほどの報告にもありましたが、ボランティアをどう作るのかというところで、ボランティアということで始まっても、何年か経つと「学校のためにしているのに学校は何にもしない、PTAは何にもしない。」という様な関係がそこに出てきて、結局は消滅するという様なケースが今までに色々な場面でありましたので、そうではない形のをどうやっていくのかというところだろうと思います。</p> <p>それとまた、市の市民意識調査がこのたびとまり、その中で小学校区ごとで地域の方々に、学校に関する興味関心を問う設問があるのですが、それを見ると地域によって色々な差があり、その中で実行し得る形というのをどうやっていくのかというのがこれからの地域本部の課題だろうなと思います。今、教育委員会では、中学校区での連携という事をメインに据えています。中学校区の子どもたちをどう育てるかというのは、地域の方々と一緒に同じ方向を向きながら教育をやっていかなければならない時代に入ってきており、川西市立ではあるけれど、ある意味で地域立の学校という様な意識を持って行く必要があるだろうという事で、地域での連携という取り組みを進めています。そんな中で地域と連携した様々な事業をどういうふうに展開して行くのかというのは、次の段階に入っていくのではとっております。</p>
E委員	<p>学校への関心に差があるという事をちゃんと見て、そして次の対策や課題を考えるという事が行政のやるべき本質だと思う。学校にしか分らない課題というのがあり、もちろん漏れてはいけない情報もあるが、可能な限り、地域の人たちや学校のPTAに示して、課題を共有し、地域の人達と一緒に、どうするか検討するところにつながりができてくると思う。またオープンスクールというのは、単に良いところを見せるだけではなく、学校の持っている課題なども見える様な形で提示する事で、つながりになるのではないかというふうに思う。</p>
C委員	<p>コーディネーターの仕事の実績というか成果を教えてください。</p>
コーディネーター	<p>例えば小学校の手話学習のサポートの例ですが、ある児童が、自分で進路を聴覚特別支援学校に進もうと決めたが、学校を見学に行くとみんな手話で授業し、会話をしているので不安になり、卒業までの短い時間だったが、手話を使える様に指導してくれる人はいないだろうかというところで、校長先生から問い合わせがあり、私が懇意にしている人でその小学校からは随分離れた所に住んでいる人ですが、手話をなさるので相談に行きましたら、引き受けてくださり、週に一回、6ヶ月ほど通ってくれました。その内にその小学校の地元で手話をやっているという方が分り、その方がその児童の大変心強い味方になってくれたという事がありました。動いてみると、力を貸してくれる方が身近にたくさんおられるという事が後から分ってくるなどして繋がっていきます。だからこそ、学校から発信をして頂けたらと思っているところです。</p>
C委員	<p>ということは、学校からのニーズを受けてやるコーディネートの仕方が一番成果として挙がり易いという事か。</p>

審 議 経 過

NO.7

コーディネーター	そう思います。
議長	基本的にコーディネーターの立場というのは地域、学校、家庭とのつながりの大きな核になるというのは確かで、他の機関、学校との連携の部分があるので、その辺で相当苦労はされている。教育現場での理解と現状を分りながらどう関わっていくのかという所が課題である。
C委員	学校に対する強力な応援団ということか。
議長	そうですね。
C委員	よく分りました。どのようにコーディネートされているのかと思ったので。
議長	H委員さん、今まで論議を聞かれてなにかお願いします。
H委員	学校は、地域の皆さんの力で盛り上げて頂いている所がある。つながりをしっかりと行かなくてはいけないと常に考えている。見守りにしても安全協力委員という組織があり、本当に関心を持って子ども達を守って頂いていると感じる。また地域で色々な行事を計画して下さり、子どもたちが活躍できる様な場面を沢山作って頂いているから、非常に有り難いと思う。そういう事は子ども達にも知らせ、地域の方に大変お世話になっているという事を伝え、感謝の気持ちを持つようにというような事もしている。ただ、充分でないのは、地域の方の力を学校の中で活用させて頂く事がなかなか出来ていないところである。学校のニーズや学校で手助けが必要だという場面をよく見て、地域の方に積極的に働きかけて行くという事をこれからもう少ししていかななくては行けないと、今の話を聞きながら感じた。
A委員	ボランティアの方のスキルというか技術というか、こういう事をやりますというのを、何か検討する様な事はされるのか。
コーディネーター	登録用紙に書いて頂くだけではなく、何か関わりたいと言って下さっている方には必ずお目にかかる様にしています。どういう方なのかというのをしっかりとコーディネーターが把握して、申し出の事とは違うかも知れないが、他の所で活動して頂ける事も見つかりますし、そうでなくても仲間という事で巻き込む事にしています。
A委員	この学校支援地域本部のボランティアは、学校に関わるということは子どもに関わるという事になる訳だから、そのボランティアをされる方がどういう方なのかというのは非常に大切な事だと思う。その辺をよくつかんでいただかないと、最悪なことを考えると、何かそういうトラブルが起こらない様なフォローがあるのかと思ってお聞きした。
事務局	今のお話は、非常に重要で、実は学校支援のボランティアのリストというのは、10年前に学校指導要領が始まった時に全国の至る所で作られたのですが、中身がわからないため殆んど使われな。授業をやって貰いに来て頂き、話をしてもらったが面白くないから子ども達が聞かないので、教師はなにしているのだと言って怒って帰られるというケースがたくさんあり、結局学校の方も引いて行く。ということで、今回コーディネーターの方が学校からの要望がある時に、

審 議 経 過

NO.8

	<p>中継ぎをする時に必ずお会いして話をし、一定の理解をして頂いた上でお願いするということですからその辺りは一定のレベルをクリアできているのだろうとは思いますが。ボランティア登録の件数が急激に増えないのはやはりその部分を非常に慎重にやっているからですね。</p>
A委員	<p>安心した。</p>
議長	<p>コーディネーターが中心になりながら自主的に研修会をどんどん開いておられる。事務局が言われた様に確かにいろいろなトラブルが、多分全国的に見たらあろうかと思うが、心配はいらないと思う。</p>
D委員	<p>今、言わせて頂こうと思ったのだが、「こういう人が欲しい。」と校長先生から発信して頂けると私達も探せる。探す時に、ある地域では、登録とかではなく、自分の知っている地域外の人の中から探すしかない状態だったので、その地域の方をもっと巻き込むことが大事だと思う。去年、池田中学校にうかがった時に居酒屋のトイレとかいろいろな所に「中学校にお手伝いに来て下さい。」というポスターを貼っているという話があったと思う。コーディネーターで声掛けができるというのは本当に一握りなので、もっと学校から地域に発信して貰えば、できるという方がもっとおられたのではないかと思う。地域の方で地域の学校を応援するのが本当だと思うので、もう少し地域とつながる方法を考えないといけないのではないかと思う。</p>
議長	<p>こういう組織があるのだから、地域と学校の連携、言葉でいって易くはないが、連携できる形を我々委員としても、もっと発信をしていかないといけないという様に思う。それでは、最後になるが事務局の方から、次回の開催について説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>・次回の第5回社会教育委員の開催について 平成25年11月27日(水) 午後1時30分から川西市立中央図書館にて予定。</p>
議長	<p>社会教育施設の中央図書館で開催するという事で、論議が社会教育施設に絡んでくるかもしれないが、そろそろ今年度の会も終わりに近づいているので、今までの論議を集約する形に一步入らせて頂きたいと思う。あわせて、中央図書館の問題等々も意見交換して行きたいと思う。以上をもって閉会する。</p>